

簿記の教科書 日商2級 工業簿記
基本問題 解答用紙

解答用紙はダウンロードでもご利用いただけます。

TAC出版書籍販売サイト・サイバーブックストアにアクセスしてください。

<http://bookstore.tac-school.co.jp/>

CHAPTER 02 材料費 基本問題

問1 材料費の分類

直接材料費： _____ 円

間接材料費： _____ 円

問3 材料費の計算

(1) 先入先出法： _____ 円

(2) 平均法： _____ 円

CHAPTER 03 労務費 基本問題

問1 労務費の分類

直接労務費： _____ 円

間接労務費： _____ 円

問2 賃金の消費額の計算

当月の賃金消費額： _____ 円

CHAPTER 04 経費 基本問題

問1 経費の分類

直接経費： _____ 円

間接経費： _____ 円

問1 製造間接費の実際配賦と個別原価計算

原 価 計 算 表 (単位：円)

	No.101	No.102	No.103	合 計
前月繰越				
直接材料費				
直接労務費				
製造間接費				
合 計				
備 考				

仕 掛 品

前月繰越 ()	製 品 ()
直接材料費 ()	次月繰越 ()
直接労務費 ()	
製造間接費 ()	
()	()

製 品

仕 掛 品 ()	売 上 原 価 ()
	次 月 繰 越 ()
()	()

問2 製造間接費の予定配賦

No.201 : _____ 円 No.202 : _____ 円 No.203 : _____ 円

借方科目	金 額	貸方科目	金 額

問3 製造間接費の予定配賦と個別原価計算

仕 掛 品	
前月繰越 ()	製 品 ()
直接材料費 ()	次月繰越 ()
直接労務費 ()	
製造間接費 ()	
()	()

製 品	
前月繰越 ()	売上原価 ()
仕掛品 ()	次月繰越 ()
()	()

CHAPTER 06 部門別個別原価計算 基本問題

問1 直接配賦法

製造間接費部門別配賦表

(単位：円)

摘 要	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門	
		第1製造部門	第2製造部門	修繕部門	工場事務部門
部門個別費	571,000	250,000	180,000	84,000	57,000
部門共通費					
建物減価償却費					
電力料					
部 門 費					
修繕部門費					
工場事務部門費					
製造部門費					

問2 相互配賦法

製造間接費部門別配賦表 (単位：円)

摘 要	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門	
		第1製造部門	第2製造部門	保 全 部 門	工場事務部門
部門個別費	599,000	250,000	180,000	108,000	61,000
部門共通費	390,000	171,000	132,000	60,000	27,000
部 門 費	989,000	421,000	312,000	168,000	88,000
第1次配賦					
保全部門費					
工場事務部門費					
第2次配賦					
保全部門費					
工場事務部門費					
製造部門費					

問3 製造部門費の各製品への配賦

(1) 製造部門費の実際配賦率と各製品への配賦額

第1製造部門

実 際 配 賦 率： @ 円

No.101への配賦額： 円 No.102への配賦額： 円

第2製造部門

実 際 配 賦 率： @ 円

No.101への配賦額： 円 No.102への配賦額： 円

(2) 各製造部門から各製品への配賦の仕訳

借方科目	金 額	貸方科目	金 額

問4 部門別個別原価計算

(A)

製造間接費部門別配賦表

(単位：円)

摘要	合計	製造部門		補助部門		
		第1製造部門	第2製造部門	修繕部門	保全部門	工場事務部門
部門費	1,264,000	447,500	377,200	180,000	154,000	105,300
修繕部門費						
保全部門費						
工場事務部門費						
製造部門費						

(B) No.101に配賦される製造間接費（部門別配賦）： _____ 円

(C) No.101に配賦される製造間接費（総括配賦）： _____ 円

CHAPTER 07 総合原価計算 I 基本問題

問1 先入先出法

① 月末仕掛品原価 _____ 円

② 完成品総合原価 _____ 円

③ 完成品単位原価 @ _____ 円

問2 平均法

① 月末仕掛品原価 _____ 円

② 完成品総合原価 _____ 円

③ 完成品単位原価 @ _____ 円

問1 工程別総合原価計算

総合原価計算表

(単位:円)

	第1工程		第2工程	
	直接材料費	加工費	前工程費	加工費
月初仕掛品	9,600	4,750	23,000	3,520
当月投入	25,500	24,920		47,600
合計	35,100	29,670		51,120
月末仕掛品				
完成品				

仕掛品 - 第1工程

月初有高	14,350	次工程振替高 ()	
直接材料費	25,500	月末仕掛品 ()	
加工費	24,920		
	<u>64,770</u>		<u>64,770</u>

仕掛品 - 第2工程

月初有高	26,520	完成品 ()	
前工程費 ()		月末仕掛品 ()	
加工費	47,600		
	<u>()</u>		<u>()</u>

問2 組別総合原価計算

総合原価計算表

(単位：円)

	製品 A		製品 B	
	直接材料費	加工費	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	45,300	15,160	52,800	26,250
当月製造費用	99,000		109,200	
合計	144,300		162,000	
月末仕掛品原価				
完成品総合原価				
完成品単位原価	@		@	

問3 等級別総合原価計算

製品 X 1	① 完成品総合原価	_____	円
	② 完成品単位原価	@ _____	円
製品 X 2	① 完成品総合原価	_____	円
	② 完成品単位原価	@ _____	円

CHAPTER 09 総合原価計算Ⅲ 基本問題

問1 仕損・減損の処理 (完成品のみ負担)

① 月末仕掛品原価	_____	円
② 完成品総合原価	_____	円
③ 完成品単位原価	@ _____	円

問2 仕損・減損の処理（両者負担－Ⅰ）

- ① 月末仕掛品原価 _____ 円
② 完成品総合原価 _____ 円
③ 完成品単位原価 @ _____ 円

問3 仕損・減損の処理（両者負担－Ⅱ）

- ① 月末仕掛品原価 _____ 円
② 完成品総合原価 _____ 円
③ 完成品単位原価 @ _____ 円

問4 仕損・減損の処理（仕損品に評価額がある場合－Ⅰ）

- ① 月末仕掛品原価 _____ 円
② 完成品総合原価 _____ 円
③ 完成品単位原価 @ _____ 円

問5 仕損・減損の処理（仕損品に評価額がある場合－Ⅱ）

- ① 月末仕掛品原価 _____ 円
② 完成品総合原価 _____ 円
③ 完成品単位原価 @ _____ 円

問6 材料の追加投入

- ① 月末仕掛品原価 _____ 円
② 完成品総合原価 _____ 円
③ 完成品単位原価 @ _____ 円

問7 総合問題

仕掛品 - 第1工程

月初有高：		第1工程完了品：
A 原料費	75,200	A 原料費 ()
加工費	42,000	加工費 ()
当月投入：		月末有高：
A 原料費	358,800	A 原料費 ()
加工費	546,000	加工費 ()
	1,022,000	
		1,022,000

仕掛品 - 第2工程

月初有高：		第2工程完成品：
前工程費	110,600	前工程費 ()
B 原料費	—	B 原料費 ()
加工費	21,000	加工費 ()
当月投入：		月末有高：
前工程費 ()		前工程費 ()
B 原料費	620,000	B 原料費 ()
加工費	744,000	加工費 ()
	()	
		()

問1 製造原価報告書の作成

	製造原価報告書	(単位：円)
I 材料費		
主要材料費	()	
補助材料費	()	()
II 労務費		
直接工賃金	()	
間接工賃金	()	
給料	()	()
III 経費		
水道光熱費	()	
減価償却費	()	
保険料	()	()
合計		()
製造間接費配賦差異	[]	()
当期総製造費用		()
期首仕掛品棚卸高		()
合計		()
期末仕掛品棚卸高		()
当期製品製造原価		()

(注) [] には「+」または「-」を記入すること。

問2 製造原価報告書と損益計算書の作成

製造原価報告書

(単位：円)

I 直接材料費		
期首原料棚卸高	()	
当期原料仕入高	()	
合 計	()	
期末原料棚卸高	()	()
II 直接労務費		
直接工賃金		()
III 製造間接費		
補助材料費	()	
間接工賃金	()	
給 料	()	
電力料	()	
減価償却費	()	
保険料	()	
租 税 公 課	()	()
合 計		()
製造間接費配賦差異	[]	()
当期総製造費用		()
期首仕掛品棚卸高		()
合 計		()
期末仕掛品棚卸高		()
当期製品製造原価		()

損益計算書

(単位：円)

I	売上高		7,876,000
II	売上原価		
	期首製品棚卸高	()	
	当期製品製造原価	()	
	合計	()	
	期末製品棚卸高	()	
	差引	()	
	原価差異 []	()	()
	売上総利益		()
III	販売費および一般管理費		1,290,000
	営業利益		()

(注) [] には「+」または「-」を記入すること。

問1 パーシャル・プランによる勘定記入

仕 掛 品	
前月繰越 ()	製 品 ()
直接材料費 ()	次月繰越 ()
直接労務費 ()	原価差異 ()
製造間接費 ()	
()	()

問2 原価差異の分析

直接材料費差異	[]	円
価格差異	[]	円
数量差異	[]	円
直接労務費差異	[]	円
賃率差異	[]	円
時間差異	[]	円
製造間接費差異	[]	円
予算差異	[]	円
操業度差異	[]	円
能率差異	[]	円

問1 全部原価計算と直接原価計算の損益計算書-I

(1) 全部原価計算の損益計算書

I. 売 上 高	()
II. 売 上 原 価	()
売上総利益	()
III. 販売費および一般管理費	()
営業利益	()

(2) 直接原価計算の損益計算書

I. 売 上 高	()
II. 変動売上原価	()
変動製造マージン	()
III. 変動販売費	()
貢献利益	()
IV. 固 定 費		
固定製造原価	()
固定販売費および一般管理費	()
営業利益	()

問2 全部原価計算と直接原価計算の損益計算書－Ⅱ

(1) 全部原価計算の損益計算書

	第1期	第2期	第3期
売上高	()	()	()
売上原価	()	()	()
売上総利益	()	()	()
販売費・一般管理費	()	()	()
営業利益	()	()	()

(2) 直接原価計算の損益計算書

	第1期	第2期	第3期
売上高	()	()	()
変動売上原価	()	()	()
変動製造マージン	()	()	()
変動販売費	()	()	()
貢献利益	()	()	()
固定費	()	()	()
営業利益	()	()	()

問3 CVP分析－Ⅰ

- (A) 売上高： _____ 円 販売量： _____ 個
- (B) 売上高： _____ 円 販売量： _____ 個
- (C) 売上高： _____ 円 販売量： _____ 個
- (D) 安全余裕率： _____ %

問4 CVP分析-II

(A) 直接原価計算の損益計算書

I. 売上高	()
II. 変動売上原価	()
変動製造マージン	()
III. 変動販売費	()
貢献利益	()
IV. 固定費		
固定製造原価	()
固定販売費および一般管理費	()
営業利益	()

(B) 損益分岐点の売上高： _____ 円

(C) 売上高営業利益率： _____ %

(D) 安全余裕率： _____ %

問5 高低点法による原価の分解

(A) 最大生産量： _____ 個

最低生産量： _____ 個

(B) 製品1個あたりの変動費： @ _____ 円

月間の固定費： _____ 円

(C) 損益分岐点の売上高： _____ 円